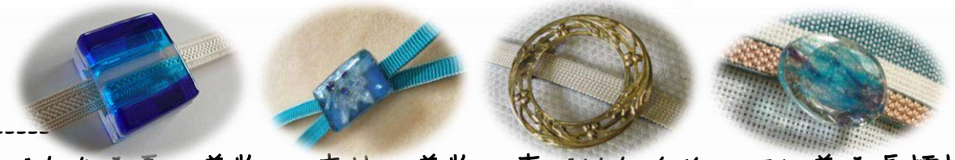
2018年　Vol.8　やしま呉服店:小矢部市岡360 ☎0766-67-5298

メルヘンハウス通信

暑中お見舞い
申し上げます

今月の和とく情報

夏の着物と襦袢の相性



着物好きにとって嬉しくもあり大変でもある夏の着物･･･表地の着物の事ではなくその下に着る長襦袢のことです。
着物に隠れていて地味ですが非常に大切なことです。
袷の着物の時より、単衣から薄物にかけては長襦袢に気を使います。中でも薄物の着物を着用するときは特に気をつけなくてはなりません。

これからの和とくポイント

美しさと素材と体感

夏の着物は薄いので透けてしまうことを、何より前提に考えておかなくてはなりません。
それ故に一番注意する点は長襦袢の着丈と袖丈です。
上に着る着物から長襦袢が透けてしまいますから着丈が短いと着物との段差が見えてしまうからです。
そして同じように袖丈もピッタリ合っていないと透けてしまいます。
夏の着物は軽いので長襦袢の袖が短いと飛び出してしまいます。
着物も襦袢も軽いのでお互いが良く添うためには寸法が合っていなくてはなりません。ですから正確な着物の寸法を、仕立てる方に伝えることが重要です。
長襦袢は着物に準じて購入されたお店が割り出します。出来れば着物と襦袢は同じ方に仕立ててもらうのが理想的です。
長襦袢だけを仕立てに出す時は特に着丈と袖丈に注意をしてください。これが夏の着物姿を綺麗に見せる秘訣でもあります。
夏の長襦袢には絽より涼しげな紗もあります。白地が多いのは上に着る着物に響かないためで、中には淡く染めたものもあります。
そして上布や麻の着物の下には麻の襦袢が用いられます。麻の襦袢はシワになりやすいのが難点ですがとても涼しいです。
それから多いのは化学繊維で作られた夏用の襦袢です。これは夏に汗をかくので汚れたら洗濯機でも洗えることが魅力ですが、汗の吸収、風通し、裾捌きの良さ、涼しさを考えるとどうしても正絹に勝るものはないでしょう。
どの素材を選ぶかは着物の種類にもよります。最近では洗える正絹の襦袢も出てきました。長襦袢に付ける半衿も正絹と化学繊維では暑さの感じ方が違います。着物の格によって長襦袢を決められるのも一考と思います。
尚、夏の襦袢は来シーズンを気持ちよく迎えるために、お手入れは必ずするようにしましょう。少々、気の張る夏の着物は、長襦袢に注意をしてお召しになれば、着物姿がまたとびっきり美しくなりますよ。

今日もきもの気分

やしま呉服店からのお知らせ

❀ ８月の催事・イベント ❀

❀ カルチャー ❀

◎ポーセラーツ教室･･･２３日（木）
　クラフトカゴ＆バッグ作りもしています♪

❀ お盆休み ❀

　１５日（水）１６日（木）
※各詳細のお問い合わせはお店まで
◎HP：http://www.yashima-gofuku.co.jp/

❀ さくらきもの学院 ❀

◎たくみの会･･･８月２６日
　美味しい珈琲の入れ方講座
　おわら風の盆-前夜祭

◎HP：http://jtti.jp/sakurawasou/
◎Fb：https://www.facebook.com/sakurawasou/

❀ レッスンのお申込受付ます♪

・マンツーマンレッスン：初等科 6回
・1dayレッスン：５００円/回
※ご希望日については藤森までφ(..)

By：お藤